

イルカのジャンプ



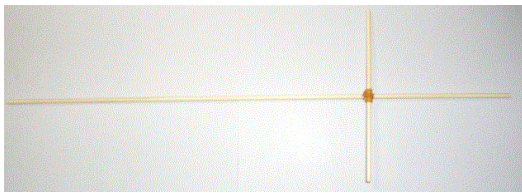
対象・・・小5「ふりこの動き」など

特色・・・ふりことは、糸におもりをつけて横に放すと、おもりは行ったり来たりをくり返しますものです。私たちの身の回りには、振り子を利用したのが見られます。また、ふりこの長さを変えると、1往復する時間が変化します。その性質を利用して、イルカがジャンプするおもちゃを作ってみましょう。

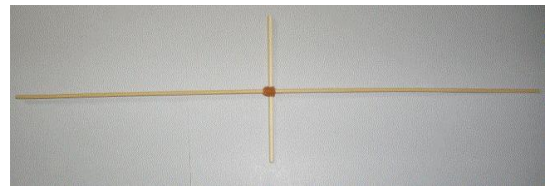
<準備するもの>

- 竹ひご6本
- テープ
- はさみ
- 油ねんど
- 輪ゴム
- 画用紙

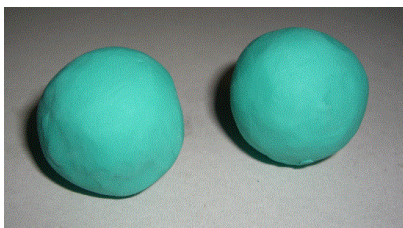
<作り方>



① 竹ひご2本（長いものと短いもの）をゴムで十字につなぎます。



② 2組目は、位置を変えて十字につなぎます。



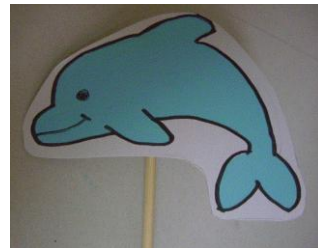
③ ねんどを丸めたものを2つ作ります。



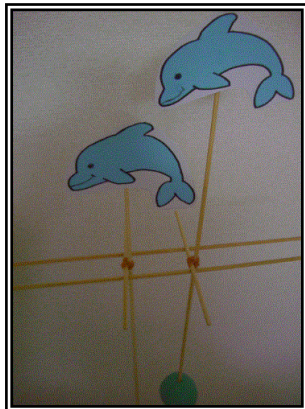
④ 竹ひごにねんどをつけたものを2組作ります。



⑤ ねんどが落ちにくいように、輪ゴムでとめます。2組作ります。



⑥ ねんどと反対のたけひごの先にイルカの絵をはります。2組作ります。



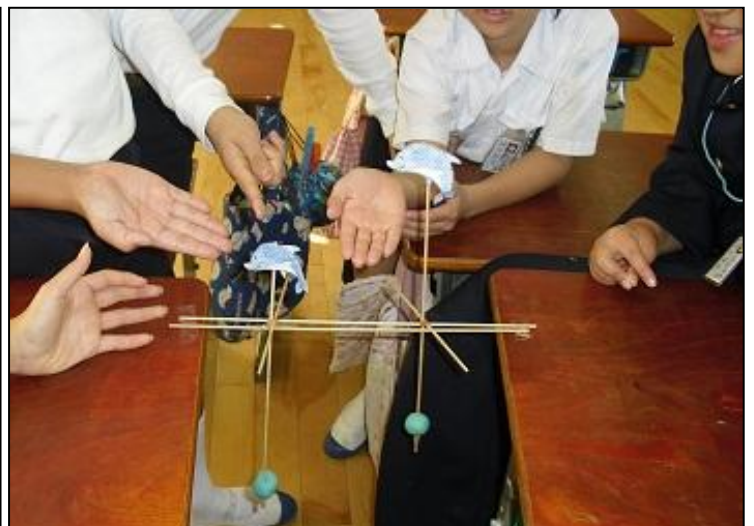
⑦ 2本の竹ひごの間に入れて、完成です。同じ高さの机などの間に2本の竹ひごをおいて、イルカをジャンプさせましょう

〈使い方〉

2つのふりこを同時にふってみましょう。ふりこの長さがちがうことで、1往復する時間が異なります。その性質を利用して、イルカの動きを楽しむことができます。



おもりの重さを変えて、1往復する時間を実験している様子



ふりこの長さを変えて、1往復する時間を実験している様子